



Startup Business Innovation Research

イームズは、経済産業省 中小企業イノベーション創出推進事業(SBIRフェーズ3)「行政ニーズ等に対応したドローンの開発・実証のうち、行政・民間の現場ニーズ(高精度測量・物流(物資輸送))に対応できる高性能ドローンの開発【中型～大型】」に採択されました。

イームズではこのプロジェクトを「次世代物流ドローンシステム」、通称「NLDS」として開発に取り組んでいます。

本事業の実施期間は2023年度から2027年度までの最大5年間、交付額上限は総額約30億円です。

この採択によりイームズは、第1種型式認証機体取得を目指します。そして、第三者上空を飛行できる物流マルチコプターの製品化、長距離飛行に対応したVTOL機を製品化を行い、運用コストを大幅に削減する1対多運航の実現、自律飛行アルゴリズムの高度化と遠隔監視体制の実現、物流分野における社会課題を解決を目指して、次世代物流サービスの社会実装を進めていきます。

SBIRフェーズ3は、スタートアップ等が持つ革新的技術を大規模実証し、社会実装へとつなげることを目的とします。

イームズが採択したテーマDは、ドローンの性能・機能を飛躍的に向上させ、多様な分野でのドローンの利活用拡大と社会課題の解決を目指しています。

